

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

－ 目 次 －

1. 現行計画の概要

- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
- (3) 林産物の供給に関する事項
- (4) 国有林野の活用に関する事項
- (5) 国民の参加による森林の整備に関する事項

2. 次期計画の検討方向

- (1) 公益重視の管理経営の一層の推進
- (2) 森林・林業再生に向けた貢献
- (3) 地域と連携した生物多様性の保全

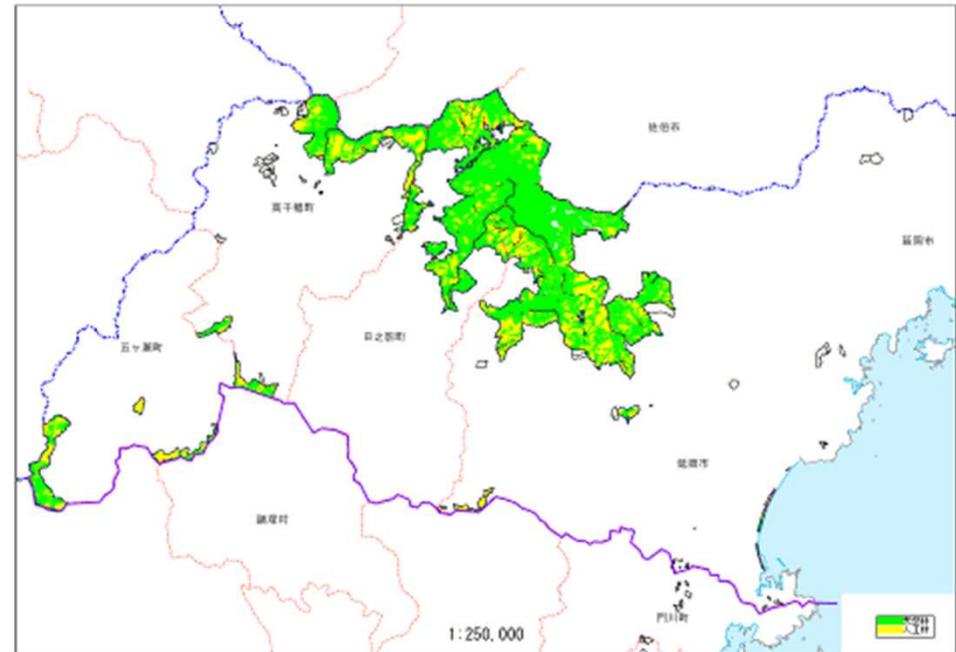
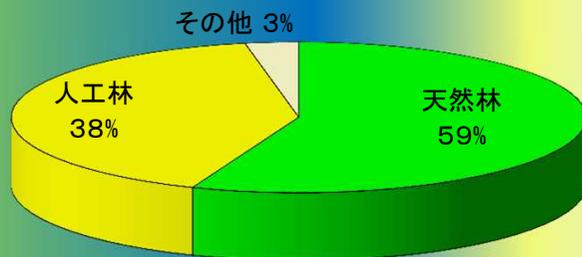
五ヶ瀬川流域

宮崎北部森林管理署

1. 現行計画の概要(平成26年4月1日～31年3月31日)

(1) 森林計画区の概要

- ・五ヶ瀬川森林計画の対象は、宮崎県の最も北部に位置し延岡市、西臼杵郡を包括する1市3町に所在する国有林野20,273haを対象としています。
- ・計画区内の国有林はブナ、ミズナラ等の広葉樹やモミ、ツガが生育する天然林と、スギ、ヒノキ人工林7,636haからなり、人工林が38%を占めています。
- ・水源かん養保安林が全体の96%に達し、下流域の水がめとして重要な役割を担っているほか、祖母傾国立公園に指定されるなど自然景観に優れた地域も多く、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

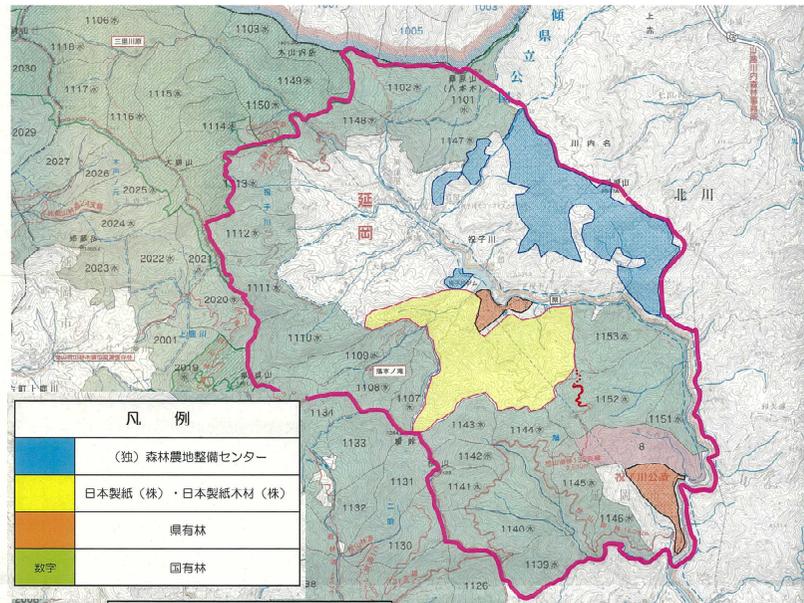
機能類型区分(面積)	機能類型区分の考え方	目指すべき森林の姿
山地災害防止タイプ (5, 881ha)	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林
自然維持タイプ (4, 012ha)	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林
森林空間利用タイプ (310ha)	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林
快適環境形成タイプ (0ha)	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林
水源涵養タイプ (10, 069ha)	水源の涵養の機能の発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮

② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組みます。

民有林と協調した効率的な森林整備を推進するための協定を締結しています。

連携強化のため地元自治体と意見交換会を積極的に実施しています。



民有林と国有林が隣接する延岡市の祝子川地域の森林に「森林共同施業団地」を設定し、関係者が連携して路網整備や森林整備を行い、スケールメリットを生かした作業の低コスト化や安定供給体制の強化を図るための協定を結びました。

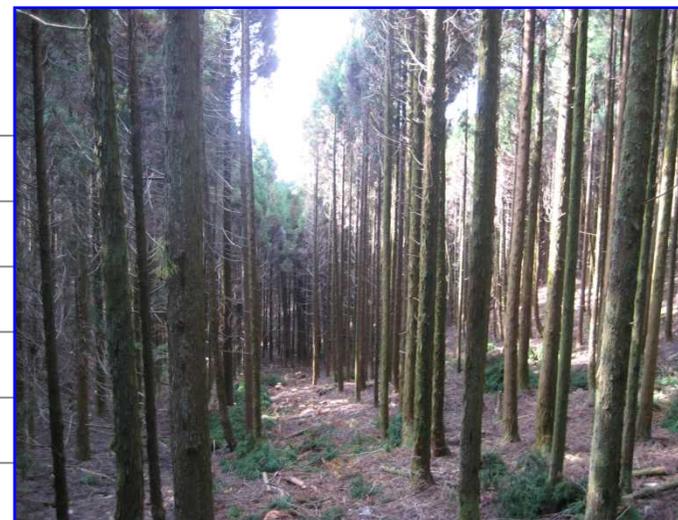
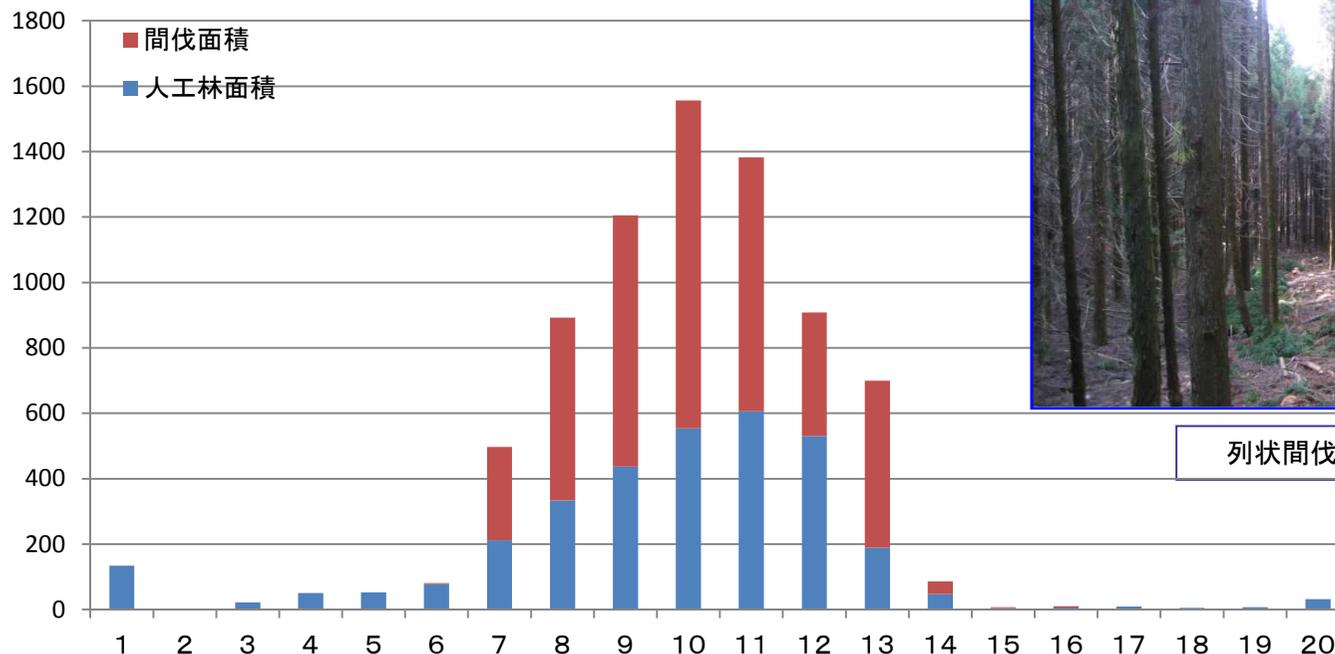
東日杵農林振興局と山村地域の再造林の推進・活性化等に向けた取り組みや、国有林の東日杵地区管内の事業量及び低コスト化に向けた意見交換を実施しています。

③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人工林の面積は約7,636 haで、16年生から60年生の人工林の面積は約6,625 ha（人工林面積の87%）です。

また、現行計画（H26度～30年度）では間伐を約4,328 ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。

<記載例>



列状間伐を導入した人工林

注：1年齢級は1～5年生を表します。

注：林齢はH29時点

④ 多様で健全な森林の整備・保全

間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



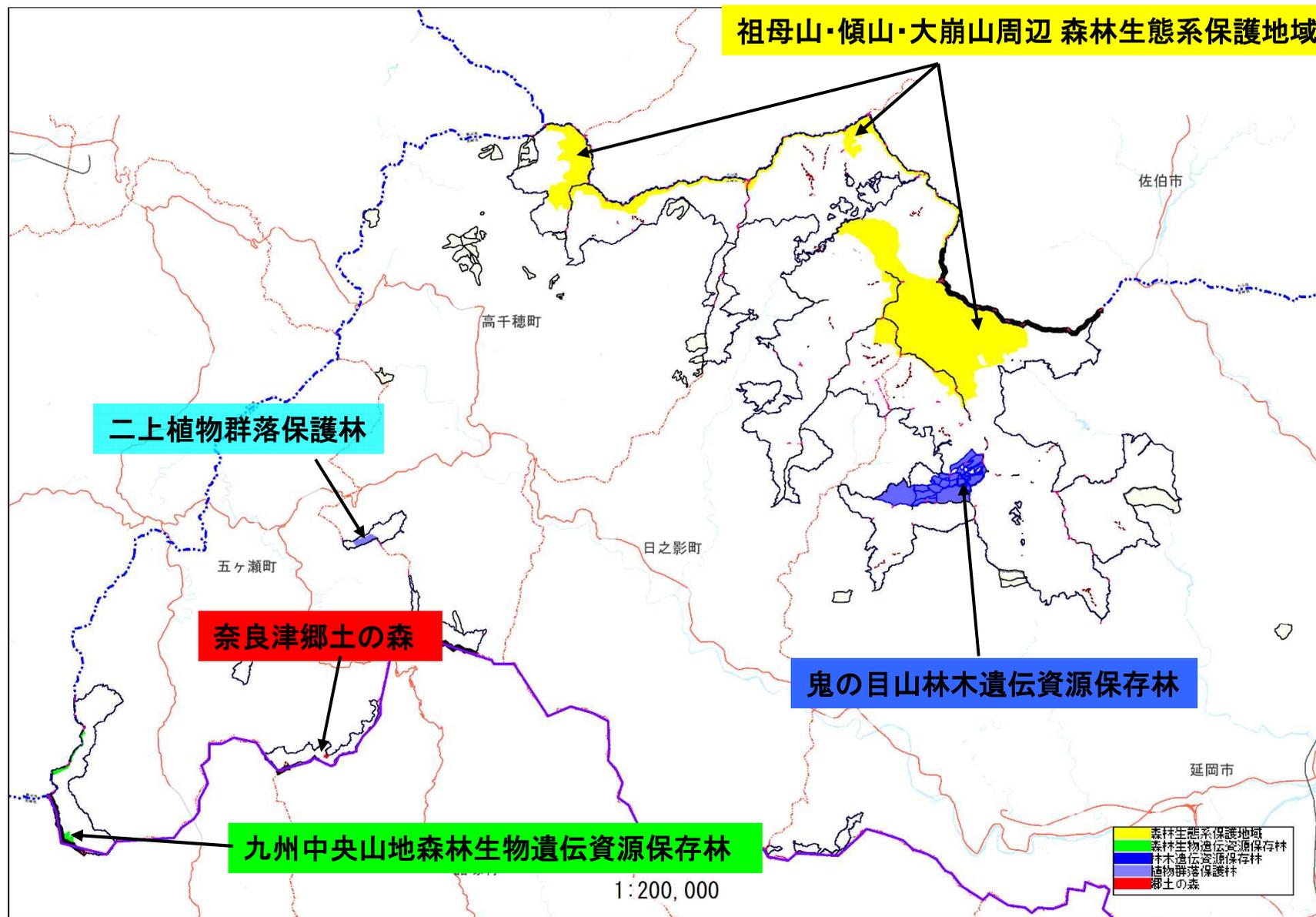
針広混交林



長伐期化された森林

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 生物多様性の保全(保護林)



② 保護林の適切な保全・管理

本計画区には貴重な自然環境としての天然林等が多数存在しており、保護林を設定し適切に保護・保存を図っています。

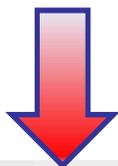
種類	名称	特徴等	面積ha
森林生態系保護地域	祖母山・傾山・大崩山周辺	冷温帯に属し、モミ、ツガ、ブナ、ミズナラ等の高木層をなす原生的な状況を呈しており、非常に貴重な森林である。 また、特別天然記念物のニホンカモシカ、河川には天然記念物のイワナやアマゴも見られる。	2,947
森林生物遺伝資源保存林	九州中央山地	太平洋型ブナ林がある程度まとまりをもって分布し、一部に湿性タイプのブナ林が見られ、希少な野生動植物が生息・生育している。 また、堆積岩及び石灰岩が主体をなし、特に石灰岩地においては他の地域に見られない、特異な植物が見られる。	38
林木遺伝資源保存林	鬼の目山	老齢天然スギ、アカマツ、ヒメコマツ、ブナ、ツチビノキ、アカシデ、アケボノツツジ等の天然林を保存している。	467
植物群落保護林	二上	ケヤキ優良天然性林を保存し、併せて森林施業、管理技術の発展、学術研究等に資するために保護している。	21
郷土の森	奈良津	地域に残された希少な天然林でモミ、ツガ、ブナ等の森を保存している。	2

③ 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

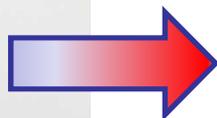
安全・安心の確保に向けた効率的・効果的で生物多様性の保全に資する治山対策を実行しています。



崩壊箇所



航空実播工



豪雨等により崩壊した林地を緑化する手段として、種子を混合した植生基材をヘリコプターで散布。

(3) 林産物の供給に関する事項

① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林の整備とともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



林業生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

コンテナ苗の特徴(植栽時期が限定されない・植付効率の向上・良好な成長)を生かした誘導伐施業と植付の同時発注による低コスト造林を推進しています。



コンテナ苗



誘導伐施業箇所

(4) 国有林野の活用に関する事項

③ レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方々に提供しています。

向坂山野外スポーツ林

ブナを主体とした天然林の自然美と冬季の積雪の多さから冬期は九州最南端のスキー場として多くのスキーヤーが九州一円から訪れています。

それ以外の季節には登山・ハイキング等に利用されています。

